

東北・関東地域からの稲わら等の流通・使用について

平成23年7月19日付け農林水産省生産局畜産振興課長から「東北・関東地域からの稲わら等の流通・使用に関する調査について」依頼があり、県内全ての肉用牛・乳用牛の飼養農場を対象に調査した結果、3月11日の東京電力の福島第一原子力発電所事故の発生以降に収集された稲わら、麦わら及び牧草等を使用した農場はありませんでしたので、お知らせします。

1 調査対象農場

肉用牛：46農場

乳用牛：63農場 計109農場

2 調査方法

7月19日から20日にかけて、電話等による聞き取り調査

3 調査結果

- ・3月11日の東京電力の福島第一原子力発電所事故の発生以降に、東北・関東地域において収集された稲わら、麦わら及び牧草等を使用した農場はありませんでした。
- ・3月11日以降に購入された稲わらのうち、2農場で新潟県の飼料業者から宮城県産29.6t及び栃木県産5.75tがありましたが、当該業者から、これらは、すべて原発事故以前の昨年秋に収穫され屋内で保管されていた品物であると報告を受けています。

別紙

【調査結果の概要】

・肉用牛(46 農場)

3/11 以降、粗飼料(稲わら、牧草等)を購入 28 農場

↳ 国産粗飼料を購入 13 農場

↳ 東北・関東地域から購入 2 農場 ← 内訳は、下記のとおり

・乳用牛(63 農場)

3/11 以降、粗飼料(稲わら、牧草等)を購入 15 農場

↳ 国産粗飼料を購入 2 農場

↳ 東北・関東地域から購入 0 農場

富山県内における東北・関東地域からの稲わら等の流通及び使用状況(3月11日以降)

農場	産地県名	飼料の種類及び購入・使用等の状況
A 農場	宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・3月18日 新潟県C飼料業者から稲わら 5.6 トン購入(石巻市産)全飼育牛に給与。残量なし。 ・4月11日 C飼料業者から稲わら 5.6 トン購入(石巻市産)全飼育牛に給与。残量なし。 ・4月27日 C飼料業者から稲わら 5.6 トン購入(涌谷町産)全飼育牛に給与。残量なし。 ・5月25日 C飼料業者から稲わら 5.6 トン購入(涌谷町産)全飼育牛に給与。残量なし。 ・6月25日 C飼料業者から稲わら 5.6 トン購入(石巻市産)全飼育牛に給与。残量なし。 <p>〔すべて平成22年秋に収穫し屋内に保管してあったもの。〕</p>
	栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・7月18日 C飼料業者から稲わら 5.75 トン購入(宇都宮市産)全飼育牛に給与。(残量あり) <p>〔すべて平成23年2月21日時点で屋内に保管してあったもの。〕</p>
B 農場	宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・3月31日 C飼料業者から稲わら 1.6 トン購入(石巻市産)全飼育牛に給与。残量なし。 <p>〔すべて平成22年年秋に収穫し屋内に保管してあったもの。〕</p> <p>在庫終了後、中国産ワラに切り替え。</p>